

BRR(アチェ・ニアス復旧・復興庁)の果たした役割

1. BRR(アチェ・ニアス復旧・復興庁)のタスク

BRR(アチェ・ニアス復旧・復興庁)は2005年4月16日、大統領令 No. 2/2005、No. 10/2005により、4年間の期限付きで設立された。復旧・復興事業は高い透明性を持ち、説明責任ある、かつ公共のニーズに見合う方針のもと実施された。

BRRの主要タスクは以下のとおりである。

- (1) APBN(国家予算)で規定したガイドラインをもとに復旧・復興事業のコーディネート
- (2) 国際・国内支援団体と協力し、中央・地方政府による復旧・復興事業実施に対する促進・コーディネート

2. BRRの運営原則と役割

BRRは何をする？

- ✓ 空前の予算で重要なニーズに特化する事業計画が持ち込まれる“市場”としての活動
- ✓ 地方政府と市民団体への必要な能力向上プロジェクトを実施する上での促進活動
- ✓ 援助国などの関係諸機関、外部団体、可能な既往メカニズムに対する活動
- ✓ スポットチェック、監査によるプロジェクト進捗管理
- ✓ 地方政府職員に対するキャパビルへの注力と優良案件の初動時60日間の早期道筋化

BRRは何をしない？

- ✗ 援助国またはNGO活動に対する管理・指示、あるいは全復興予算のコントロール
- ✗ 法的責任を有する直接的なプロジェクトの実施
- ✗ 関係機関内の大規模な技術的キャパビルの創出や既往メカニズムの複製化
- ✗ 実施機関・援助国の財務的機能や責任の代行
- ✗ ボトルネックになること、あるいは緊急に必要なプロジェクトの開始を妨げること

3. 被災内容と復旧状況

2004年12月26日に地震・津波で被災した内容と復旧状況は以下のとおりである。

| 被災事項 | 単位 | 被災内容/ニーズ | 2008年12月時点復旧状況 |
|-------------|--------|----------|----------------|
| 家 | unit | 139,195 | 127,402 |
| 農耕地 | ha | 73,869 | 103,341 |
| 道路 | km | 2,618 | 3,058 |
| 港湾 | unit | 22 | 20 |
| 空港 | unit | 8 | 12 |
| 教師 | person | 1,927 | 38,981 研修参加 |
| 学校 | unit | 3,415 | 1,485 |
| 医療施設 | unit | 517 | 1,016 |
| 文化施設(モスクなど) | unit | 1,089 | 3,192 |

出所: BRR 資料より

なお、スマトラ島北部の海岸線延長約800kmに亘る津波は、約13万人の死者、約3万7千人の行方不明者、約50万人の避難民をもたらした。約3ヶ月後の2005年3月28日にはニアス島近くの地震により、約900人が死亡、約4万人が避難民となった。

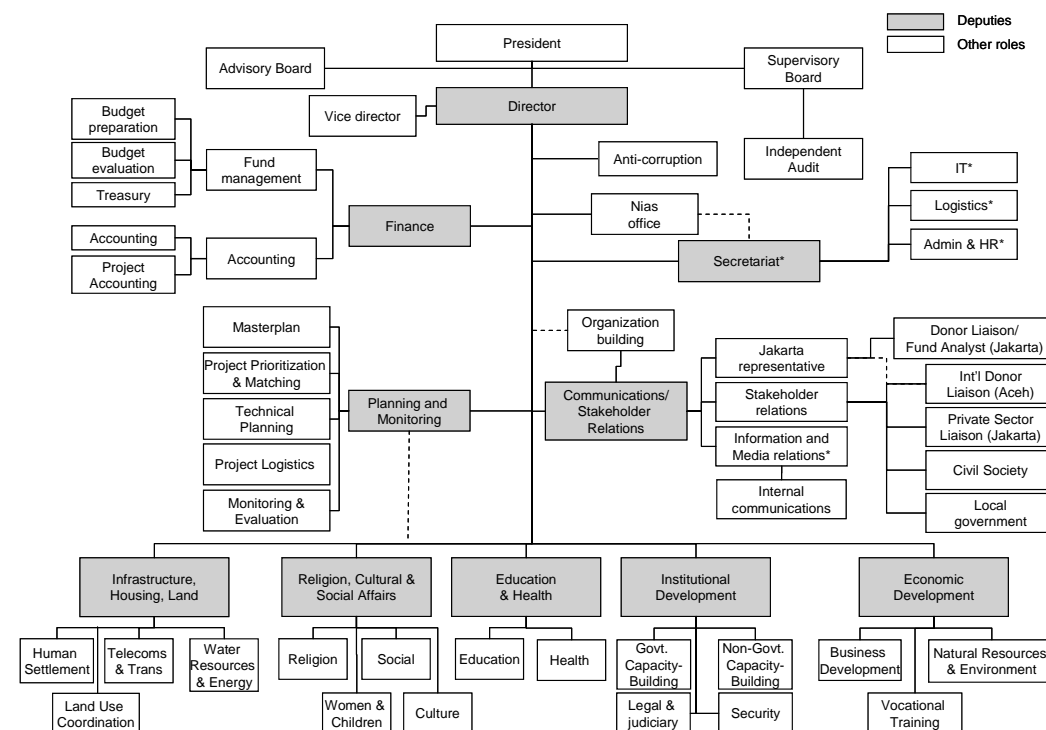
4. BRRの組織

BRRの当初組織(2005年4月29日時点)は以下のとおりである。クントロ前鉱業・エネルギー省大臣を長官とし、8人の次官と数十人のスタッフからなった。大統領直轄の組織であり、人員は各省庁から派遣された。組織はその後幾度か改正され、最盛期には約500名からなる大組織になった。クントロ長官はBRR本部のあるバンダ・アチェ市に滞在して陣頭指揮をとった。首都ジャカルタからの遠隔管理ではない。総予算は約6.7 USD Billion。執行権限がBRR長官に全面的に与えられていたが、週定例会議等で各次官への権限委譲がその都度なされた。



ビレッジプランを説明するクントロ長官
出所: 2005年8月15日付け BRR News Letter より

すべての復旧・復興計画の策定、事業の実施が一元管理された。毎年、自国予算で約5,000プロジェクト、49ヶ国の援助国支援で約1,500プロジェクト、約600のNGO支援で約6,000プロジェクト、合計約12,500プロジェクトの管理を行った。



BRR 組織図

出所: BRR 資料より

5. BRRとJS(Joint Secretariats: 合同調整機関)

BRRは、設立約1年後の2006年5月、復旧・復興事業の地方移管構想を提唱した。その結果、地方自治体による横断的組織である合同調整機関(JS)が立ち上がり、復旧・復興事業がBRRから徐々にJSへ移管されていった。当初、バンダ・アチェ市に設置したBRR本部に加え、各主要県庁にBRR地方事務所を設置し、JSとの協働化が図られた。各国援助国、国際機関、国際・国内NGOsは、これら新組織をサポートした。